

# スマートシティたかまつ推進協議会 令和 5 年度事業計画

※本市スマートシティ事業のうち、特に協議会と連携して行う主な事業



令和 5 年 2 月 2 8 日  
スマートシティたかまつ推進協議会事務局

# フリーアドレスシティたかまつ(FACT)の推進

**逃げ遅れゼロ**  
いざというときを予測し、支援をともに準備し避難  
いつか、どこにいても、その人に合わせた避難誘導の迅速な避難の実現

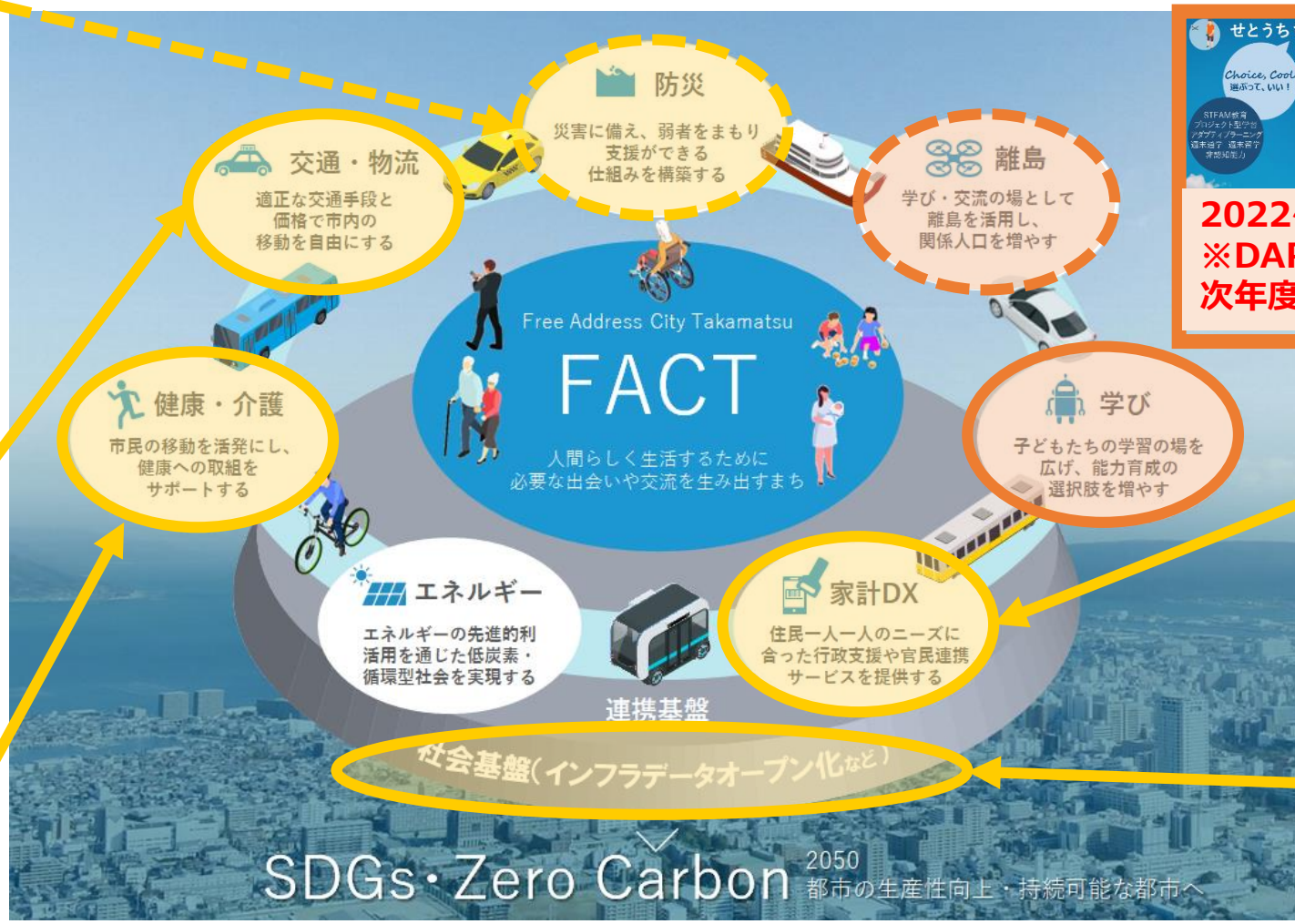
**2022～ DAPPYを中心に  
に実装に向け取組中**

**バタクス** = Vehicle of Advanced Tariff And Connection System  
「病院に行きたいけれど、電車の駅まで遠くて行きづらい」  
「バスに乗るまで1人でタクシーがほしい。仲間がいないかな」  
「高齢者がタクシー予約を希望するの(利用)」  
バタクスがアプリひとつで簡単に予約・決済・決済をおこなうことができる

**2021～ 実証事業開始**

**とくとくマイヘルスケア**  
健康になることで「虫」からインセンティブがもらえる、  
健康になることが楽しい

**2022～ デジタル財布と  
一部連携開始**



**せとうちちよいスクール (Choice.Cool!)**  
子どもの最新の学びの場と  
遊びの場を創出

**放課後FACT-ory**  
放課後×デジタルキャリアサポートで、子どもの「やりたい!」をサポート

**2022～ 放課後FACT-ory  
※DAPPYを中心に実装に向け取組中  
次年度のデジ田交付金へ申請中**

**わたしのデジタル財布**  
DXで行政と連携を一人一人に合ったサービス提供、  
地域の事業者との新しい協働を実現

**2022～ 実装開始  
※デジ田Type3事業**

**規制改革の再提案③  
高松版ベース・レジストリ**

**2022～ 実装開始  
※デジ田Type3事業**

⇒フリーアドレスシティたかまつに掲げる各種サービスを展開する基盤は着実に実装されてきており、来年度も引き続き、可能なものから順次、事業を推進。

# デジタルデバイス対策事業（継続事業）

地域コミュニティ協議会が、**地域の実情に応じて**、デジタル技術を活用した取組や、その前提となるデジタルデバイス解消に向けた取組を実施できる**体制を構築し**、円滑な活動を行うためのサポートを実施。



これまでのWGでの実証成果や、今年度までの成果を踏まえ、**実施地域を広げながら、各地区の実情・ニーズに応じた取組を継続**

## KIDSプログラミングコンテストの開催

人材の発掘・育成の取組の一環として、本市在住の小学生を対象としたプログラミングコンテストを開催。  
(次回で4年連続4回目)



## 人材育成講座の開催

香川大学との共同研究事業として、地域課題を発掘し、その課題解決に有用なデータの検討、ビジネス実証、そして将来のスマートシティ事業を担う人材の養成につながるような一連の講座を開催。

地域課題の発掘、  
明確化

課題解決に有用な  
データの検討  
ソリューションの  
アイデア出し・  
ビジネス実証

アイデア・サービスの  
評価・改善  
(データ連携基盤の充実)

【講座1】  
eかみしばいコンテスト2023



【講座2】  
Web×IoTメイカーズチャレンジ



【講座3】  
まちのデータ研究室



※今後の検討状況により、  
各講座の順番が前後する  
可能性があります。

# 協議会における今後の方針

スマートシティたかまつ推進協議会の設立から約5年が経過し、我々を取り巻く環境も大きく変化しました。「スマートシティたかまつ」の推進を目的に、来年度も引き続き、今後の協議会の運営方法や、協議会の在り方等について、広く意見を伺いながら引き続き検討していきます。

2022年度

これまで

これから

協議会設立・PF構築

年に1回の総会、年に4回の運営委員会（会議体）を開催し、協議会を運営

各分野のWG活動（運営委員会にて承認を受けたWGが計画に則って実行）

事務局（高松市）からの片方向コミュニケーション

デジタルを活用し、オープンに全員参加型の議論を行い、柔軟な運営を行っていく

協議会員のやりたいことを実現させる環境づくり

双方向コミュニケーション

